

平成27年度 第5回新居浜市政策懇談会議事録

○日 時 平成27年11月30日（月）19:00～20:40

○場 所 消防庁舎4階 消防コミュニティ防災センター

○委員の出欠 出席35名（代理出席2名含）、欠席5名

○会議次第

1. 開会

市長あいさつ

2. 議事

- (1) 第五次新居浜市長期総合計画について
- (2) 新居浜市人口ビジョン及び新居浜市総合戦略について
- (3) 各ワーキンググループ提言案の審議
- (4) その他

3. 閉会

1. 開会

事務局：定刻がまいりましたので、ただ今から「平成27年度 第5回新居浜市政策懇談会」を開催いたします。

本日は委員の皆様方には御多忙にもかかわらず、御出席をいただきまして、ありがとうございます。

議事に入ります前に、委員の出欠につきまして御報告をいたします。本日の会議には、新居浜青年会議所の越智委員さん、新居浜市漁業振興対策協議会の中原委員さん、新居浜市高等学校校長会の日野委員さんにおかれましては、所用のため欠席との御連絡を受けております。御了承をお願いいたします。

また、新居浜金融協会 河野委員さんの代理で、後藤様、新居浜市観光協会 畑田委員さんの代理で鎌田様に御出席いただいております。本日はよろしくをお願いいたします。まだお見えになっていない委員さんもいらっしゃいますが、定刻がまいりましたので会議を始めたいと思います。

それでは、これより会議を開会いたしますが、会議進行につきましては、小野委員長をお願いしたいと思います。

小野会長：皆さんこんばんは。委員のみなさまには、大変お忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。それでは、お手元の会次第に沿って会議を進めたいと存じます。

まず、開会にあたりまして、石川市長から御挨拶を申し上げます。

石川市長：皆様こんばんは。開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、御多忙のところ、政策懇談会に御出席いただき、誠に有り難うございます。

本日は、今年度最後の政策懇談会でございます。本日は、これまで御協議いただきました「第五次新居浜市長期総合計画の中間見直し」と「新居浜市の地方創生」について、最終案を御協議していただきたいと考えております。

また、「コミュニティ再生」、「経済再生」、「健康都市づくり」、「教育力向上」の4つのワーキンググループにおきまして、本年度も議論を重ねられ、提言として取りまとめていただいております。この提言についても本日御協議をお願いしたいと考えております。

本日はよろしく願いいたします。

2. 議事

小野会長：ありがとうございました。

それではこれより議事に移りたいと思います。本日の議事については、前回の政策懇談会に引き続き、本年度の政策懇談会のテーマであります「第五次新居浜市長期総合計画の中間見直し」と「地方創生」について、まず、長期総合計画については、「基本構想」及び「基本計画」の最終案を、地方創生については、「新居浜市総合戦略」の最終案を御協議いただきたいと考えております。

また、今年度7月、第2回の当懇談会におきましてお話させていただいた通り、「コミュニティ再生」、「経済再生」、「健康都市づくり」及び「教育向上」の各ワーキンググループにおきまして、次年度に向けた新たな施策の提言案をご検討いただいたところであります。本日、各グループの提言案をご審議いただき、本懇談会からの提言として市長に提出いたしたいと考えております。

それでは、お手元の会次第に沿って議事を進めたいと存じます。

まず、議題1「新居浜市長期総合計画について」でございます。

石川市長から説明をお願いします。

石川市長：（新居浜市長期総合計画について説明）

小野会長：ありがとうございました。ただいま、石川市長から「新居浜市長期総合計画について」説明がありましたが、なにか御質問等はありませんか。

（意見・質疑） なし

小野会長：御質問がなければ、原案のとおりご承認いただいてよろしいでしょうか。

（異議なし）

小野会長：ありがとうございます。ご承認いただいたものとしたしたいと思います。
次に、議題2「新居浜市人口ビジョン及び新居浜市総合戦略について」でございます。石川市長から説明をお願いいたします。

石川市長：（新居浜市長期総合計画について説明）

小野会長：ありがとうございました。ただいま、石川市長から「新居浜市人口ビジョン及び新居浜市総合戦略について」説明がありましたが、なにか御質問等はありませんか。

（意見・質疑） なし

小野会長：御質問がなければ、原案のとおりご了承いただいてよろしいでしょうか。

（異議なし）

小野会長：ありがとうございます。ご了承いただいたものいたします。
続きまして、議題3「各ワーキンググループ提言案の審議」でございます。

それでは、ワーキンググループごとに審議をいたします。まず初めに「コミュニティ再生サーキンググループ」からの提言案について、日野座長（連

合自治会長) から説明をお願いします。

日野座長： (説明)

小野会長：ありがとうございました。

ただいま、日野座長から提言案について御説明いただきましたが、何か御意見、御質問はございませんか。

(意見・質疑) なし

小野会長：それでは、次に「経済再生ワーキンググループ」からの提言について、曾我部座長(機械産業協同組合理事長)から説明をお願いします。

曾我部座長： (説明)

小野会長：ありがとうございました。

ただいま、曾我部座長から提言案について御説明いただきましたが、何か御意見、御質問はございませんか。

合田委員：高校生、大学生に産業をわかってもらうためにどうするか、ということですが、保育所の子供たちにも現物を見せることもしてほしい。現実には、子供は、スマホやテレビなど非常に精密にコンパクト化されたものが一般的なものになっていますので、例えば発電所のタービンの現物を見学などすれば、人間ってこんな大きなものを作って動かしているということを感じ、子供の時に、人間に対する畏敬の念を持たせる意味でも、見せてあげることが大切なのではないかと思います。そのことで、ものづくりに対する畏敬の念が育つのではないかと思いますので、子供の時に実際に見せてもらうことが大切だと思います。

寺村部長：ただいまのご意見は、ものづくりのまちとして、仕事の現場を見ていただくということで、確かにご意見の通りです。現在、小学生、中学生を対象に現場を見ていただく事業を、創造センターで行っております。保育園が適当か、が問題になるかと思いますが、小学生、中学生からものづくりの現場を見ていただいて、新居浜市の産業を理解して、将来、新居浜市にこんな素晴らしい企業があるのだ、ということは今事業としてすでに行っております。保育園を対象にするかは今後検討させていただきたいと思いますが、既存の

事業としてすでに行っておりますので、ご報告させていただきます。

小野会長：小学校、中学校の生徒につきましては、すでに東予産業創造センターでやっているということです。保育所を入れるかどうかということについてどうでしょうか。

曾我部座長：小学生、中学生が始まったばかりなので、現場の立場から見ると安全面の問題もありますので、まずは小学生、中学生を見て問題なければ広げていくことも可能だと思いますが、まだ、6歳にならない子供には少し難しいかなとも思います。

小野会長：合田委員さんよろしいでしょうか。

合田委員：はい。

小野会長：今後の検討課題として、まず小学生、中学生で行ってみて、結果を踏まえて今後の案として検討するというにしたいと思います。
ほかにございませんか。

迫原委員：高専での企業説明会へのUターン希望者の参加ということですが、今日初めて聞いたので、持ち帰って検討しますが、前向きに検討したいと思います。

曾我部座長：ありがとうございます。

小野会長：ほかにございませんか。

(意見・質疑) なし

小野会長：それでは、次に「健康都市づくりワーキンググループ」からの提言について、鈴木座長（社会福祉協議会会長）から説明をお願いします。

鈴木座長： (説明)

小野会長：ありがとうございました。

ただいま、鈴木座長から提言案について御説明いただきましたが、何か御意見、御質問はございませんか。

(意見・質疑) なし

小野会長：それでは、最後に「教育力向上ワーキンググループ」からの提言について、横井座長（中学校校長会会長）から説明をお願いします。

横井座長：（説明）

小野会長：ありがとうございました。

ただいま、横井座長から提言案について御説明いただきましたが、何か御意見、御質問はございませんか。

(意見・質疑) なし

日野委員：5に学校・家庭・地域と書いて公民館等と書いています。また、公民館事業と書かれていますが、地域とは公民館ということでしょうか。

木村教育委員会

事務局長：最後に公民館事業の充実となっておりますが、これは、例として挙げているので、自治会も含めたものが地域と教育委員会も考えております。

日野委員：わかりました。ありがとうございました。

小野会長：ほかに御意見・御質問はありませんか。

各ワーキンググループから提言について、御協議いただきありがとうございました。

オブザーバーの方々におかれましては、御多忙中に関わらず、今年度も懇談会、ワーキンググループの活動を通じましてお力添えをいただき大変感謝いたしております。ここで、オブザーバーの皆様にもまとめのご意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

釜野講師：お世話になっております。

聖カタリナ大学の釜野と申します。

この段におきまして、特に何かを申すようなことはないんですけれども、総合戦略の中にあります数値目標というものを行政機関が掲げるというこ

とは、非常に重いものがあるわけで、一番最初の挨拶の時にもお話させていただきまされたけれども、これらがどれだけ市民・住民の方々に還元することができるかというのが大きな課題となってきます。一応やったではなくて、反響があったという形にするには、初めにも書いてありますが、PDCA サイクル、または別のモデルにおきましては、構造評価、足りないものはなかったか、そしてその過程のプロセス評価（過程）、そして出口のアウトカム評価（結果）というような評価基準もございます。その実際に進みだしてから後柔軟な新居浜モデルとして、柔軟に対応できるかが、課題になってくるかと思えます。

佐藤准教授：ワーキンググループからの意見をお聞きして、何点かお話させていただきたいと思えます。

全体として「居場所」がテーマになっているように感じました。子供、若者、高齢者も、地域の中に居場所が求められているように感じました。それぞれの時代ごとに地域の中に居心地のいい場所、そこにいることが楽しい場所が求められていると思えます。それは、施設を作るという事もあるかもしれませんが、その時に、縦割りの施設、縦割りの居場所ということではなく、多世代の方が居れるような、仕組み、仕掛けを含めた居場所づくりをぜひやっていただきたいと思えます。これがまた、健康寿命をのばすことなどに繋がると思えます。

住民自治組織の話がありましたが、私も学生と一緒にまちづくり協議会に参加する機会もあるのですが、みんなが参加できるということは良いことです。しかし、現実的には生産年齢の方たちは、日中忙しくみんなが参加できるのは現実的に難しいと聞いています。そういう機会をつくと同時に、職場の協力も含めた有機的な見方も必要になってくるのかなと思えます。ただ協議会を作っているところでは、みなさんが生き生きとされていて、松山市の公民館では学生に先生をさせて、みんなも生き生きと交流しています。既存の組織を越えた繋がりがよい効果をもたらしていると思えます。

インターンシップについては、今は、就職の前提条件になりつつあるようで、早いうちに学生も企業に行くことが就職に繋がる、逆に企業は早いうちにいい学生を見極めたいという双方の考えもあるのか、11月くらいから浮き足立っている状況にあります。就職のためのインターンシップというものもありますが、若い時からいろいろな職場に触れる機会は大事だと思えます。その分受け入れる企業の負担も増えてくると思えますので、宿泊費や交通費等の話もありましたが、全体的に負担する側の負担を考えていただきたいと思えます。

健康の面で、喫煙の事が無いのかなと思いました。喫煙は今大きな問題となっています。受動喫煙のこともあり、世界的にもたばこの害が言われています。日本は喫煙天国と言われてはいますが、健康面に喫煙のことも入れていただきたいと思いました。

東淵教授：大変な労力をおかけいただいたということが如実に感じられる膨大な資料で、非常に感銘を受けております。私の方からは、ワーキンググループのとりわけ、「経済再生ワーキンググループ」に関して少し私の思うところを述べさせていただければと思います。

今回の提言に関しましては、非常に重要な提言でございまして、全面的に賛成でございます。これを進めていただくうえで、いくつか要望を述べさせていただきます。

今回、市内出身者を中心とする若年層の定住促進に向けた雇用対策ということを打ち出されております。そして、まず最初に学生等への新居浜市の良さや市内企業に関する情報の積極的発信ということで、まず思いましたのは、このターゲットは市内出身者ということによろしいのかどうかということです。もし市内出身者ならば、新居浜市の良さについてはある程度分かっていると思いますので、どこをターゲットにしているか、一括りに学生といいますが、いろいろと属性がありますので、その辺りを明確にさせていただきたいと思います。それから、市内企業に関する情報発信についてですが、これについては学生の方も少しでも働きがいややりがいがある会社、安定感のある会社を求めているわけがございますので、魅力とか強みというものを、まずは新居浜市内の企業の方々に明確にさせていただくことが必要であると思います。改めてその点を見つめ直していただいて明確に打ち出していただく必要がございます。また、そういうふうなグッドな情報だけではなくて、こういうところは厳しいだとか、こういうところは少し劣っているというようなバッドな情報も合わせて発信していただくということです。企業情報の発信を見ますと、大体いいことしか出ておりませんので、学生の方もそういうものだろうと思っているのですが、バッドな情報も出してほしいと当然思っております。両方出ている方が、かえってグッドな情報の信頼性が上がりますので、その辺りも発信していただければと思います。それから、インターンシップに関することですが、大学のインターンシップというのは、当然ながら教育の一環でございます。今、企業で盛んに行われようとしている、また、これまで行われてきた通例のインターンシップというのは、これはインターンシップという名前がついていますが、企業説明会のようなものでございます。私たち大学の側が求めているのはキャリア教育の

一環としてのインターンシップでございます。是非ともそのような観点をご理解いただいて、学生のキャリア教育の観点からインターンシップの内容を組み立てていただければと思います。その際、その会社でインターンシップをすることによって、何が学べるのかというところを打ち出して、アピールしていただければと思います。これに関しましては、私が関わっておりますところで、「大学コンソーシアムえひめ」というのがございまして、県内の5大学が加盟してインターンシップを共同でやっております。そこに私も関わっております。このコンソーシアムえひめのインターンシップ部会と連携していただいて、新居浜市の企業の側がインターンシップを開発していただければと思います。それから、企業情報に関しては、「ジョブカフェ愛work」の「ヒトカラえひめプロジェクト」というのがございます。これに私も関わっておりまして、企業の採用、育成、定着などで優れた企業をピックアップして、どこが優れているかというのを発信していて、多くの企業に参加していただいております。是非とも企業の情報発信に関しまして「ヒトカラえひめプロジェクト」と連携していただいて、新居浜市の企業が先頭を切っていただいて企業情報の発信をしていただければありがたいと思います。

企業城下町版CCRCの件が総合戦略に盛り込まれておりますが、CCRCというのは地方創生を行う上で、非常に重要な部分であると思います。CCRCを成功させるためには、産業界、医療・介護さらには教育といった様々な分野の支援体制が必要となってまいります。CCRCを成功させることによって、地域の様々な分野の活性化が図られるということになります。その一つが地域コミュニティであると思っております。健康都市づくりワーキンググループの提言案の中に、アクティブシニア、働く意欲のある高齢者の生きがいの創出としての就業機会の開拓というのがあります。これも企業城下町版CCRCとつながるところがあると思います。CCRCが成功するかどうかというのは、一つの要素として、受け入れる住民の側がそういうふうなホスピタリティを発揮できるかということにも関わってきます。これについては、地域コミュニティの体制に関わってくることです。こういうふうに様々な要素がCCRCと結びついていきますので、重なった部分により注力していただくことで全体への波及効果を発揮させていただければと思います。

非常に盛りだくさんの内容であります。一つ一つ皆様の力を合わせて推進していただければ、素晴らしい新居浜市になっていくだろうと思っております。今後とも頑張ってくださいと思います。

小野会長：貴重なご意見、ありがとうございました。

ワーキンググループからの提言につきましては、委員やオブザーバーの皆様からいただきました御意見を踏まえまして、本日の審議結果に基づき、改めて政策懇談会として取りまとめたものを、私から市長に提言書として提出させていただきたいと思えます。

柴田委員：一点、今後の改善点をお願いしたいと思います。たとえば、教育力向上ワーキンググループの提言ですが、公民館事業等出てきますが、この時に公民館の関係者も入れて協議したのか、それとも、外部の人だけで協議したのかお伺いしたいです。このような教育力の話で、地域も入れてするのであれば、公民館の人も入れて協議していただきたいです。座長さんよろしくお願ひします。

小野会長：教育力向上のワーキンググループに公民館の方を入れたのか、という御質問でしたが、いかがでしょうか。

木村教育委員会

事務局長：教育力向上ワーキンググループの委員さんには、公民館の代表者及び自治会の代表者の方も委員になっていただいております。

柴田委員：ありがとうございました。

小野会長：先ほどもいいましたが、私から市長の方に提言書として提出させていただきます。

なお、提言書の取りまとめにつきましては、私に御一任いただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

小野会長：御承認いただきましたので、後日改めて提言書を市長に提出いたします。市長をはじめ、行政の御担当者の方々には、提言した内容の実現に向けた取組をお願いしたいと存じます。

小野会長：それでは、次に事務局より、本懇談会の今後の予定について説明をお願いします。

鴻上総括次長：本懇談会の今後の予定について御説明いたします。

本日の会議をもちまして、本年度の活動は終了といたします。本日御提言いただいた内容につきましては、総合戦略への提言と重複する部分もございますので、今後、平成28年度当初予算編成の中で具体化の検討をしてまいります。御提言に基づく対応等について、当初予算編成後の来年3月にそれらを取りまとめたものを文書にて委員の皆さまに御報告いたしたいと考えております。併せて、本年御審議いただきました、第五次長期総合計画、総合戦略についても、最終成果品をお送りいたします。

なお、本懇談会の任期は、平成29年6月までの2年としておりますので、来年も継続して活動してまいりたいと考えております。委員の皆さまには、引き続きのお力添えをいただきたいと考えております。

来年度の具体的な予定につきましては、年度が替わりましたら改めて事務局からお知らせしたいと考えております。

以上で説明を終わります。

小野会長：説明は以上ですが、本懇談会の今後の活動について、御意見、御質問はございませんか。

(意見・質疑) なし

小野会長：無いようですので、最後に行政を代表して、市長に一言お言葉をいただきたいと思えます。

石川市長：政策懇談会の閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様や各団体の関係者の皆様には、ご多忙にもかかわらず、幾度となく会議に足をお運びいただき、熱心にご議論いただきありがとうございます。

本年度は、第1回の政策懇談会を開催して以来、「第五次新居浜市長期総合計画の中間見直し」と「地方創生」という、今後の本市のまちづくりの将来を方向づける重要なテーマに取り組んでいただきました。

また、合わせて4つのワーキンググループにおきましても、委員の皆様と、行政担当者が協働し、熱心な議論を重ねられ、今回の提言案をとりまとめいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

長期総合計画や総合戦略において、重点項目として位置付ける施策や、本日、提言していただいた項目につきましては、できる限り今後の予算編成の中で、具体化への検討をし、本市総合戦略が目指します地方創生の実現に向

け、職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

人はまちづくりの活力そのものであります。本市におきましても、人口減少、少子高齢化、経済環境の変化への対応等さまざまな問題に直面しておりますが、地域活力の創出、また、地方創生のための施策を総合的かつ計画的に推進してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様にはおかれましては、今後におきましても、「共につくろう 笑顔輝く新居浜市」の実現に向けまして、チーム新居浜の一員として、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、せっかくの機会ございますので、皆様にお知らせさせていただきます。明治の時代に別子銅山の近代化を進め、今日の住友グループ及び新居浜市の発展の礎を築いた広瀬幸平と伊庭貞剛を主人公とする新春のスペシャルドラマ「100年の計、我にあり」が俳優の榎木孝明さん、石黒賢さんを主演で、来年の正月にTBS系列で全国放送されることが決定されました。愛媛県ではあいテレビで放送されることになると思います。詳細な日程はまだ決まっていますが、決まり次第、改めてお知らせいたしますので、お正月にはぜひご覧になっていただきたいと思います。以上でございますが、本日は、本当にありがとうございました。

3. 閉会

小野会長：石川市長さん、ありがとうございました。

以上をもちまして、本年度の懇談会を終了いたします。委員、オブザーバーの皆様には長期間にわたる熱心な御審議をいただきまして、ありがとうございました。